



メディカル チェック



内科・泌尿器科

のはなし

早期発見・早期治療！
泌尿器科の腫瘍の話／その82

新型コロナウイルス感染と、癌の健診について②

今回は、新型コロナウイルス感染と癌に関するお話の2回目です。

前回、癌患者が新型コロナウイルスに感染した時の死亡率が、心血管系疾患、糖尿病、慢性呼吸器疾患をもつ患者の感染死亡率と同程度で、他の疾患と比べて特別に高くないこと、また、癌患者のうち、高齢者、喫煙者、併存疾患が2つ以上、進行癌患者において死亡リスクが高まるとお話ししました。

つまり、癌患者であっても、癌の早期発見・治療により病状が安定し健康に生活しているなら、この感染による死亡率は他の疾患と同様であると

に減少しましたが、宣言解除後は、健診・ドック・予防医学・がん関連8専門医学会からの『健康診断時の感染症対策指針』に基づいた対応を行うことで、現在、前年の8割以上に増加してきています。

実際の対策としては、実施医療機関職員の対応

や施設環境の整備（マスク着用、身体・施設消毒、3密回避など）の徹底する、受診者の2週間からの身体状態（風邪症状、発熱、嗅・味覚障害、渡航歴、職場や生活環境での感染者との接触の有無など）を事前に把握して感染リスクのある方は、一旦延期する、検査当日にも身体状況を再度確認した上で健診を実施する、とされています。当然においても、これらの対応を十分に行い、皆様に安心・安全に健診・ドックを受けて頂いています。

緊急事態宣言のような状況下では受診は控えるべきであり、また感染患者数増加に伴って警戒ステージが変動している昨今においては、その感染状況を踏まえ、延期も考慮すべきです。

医療機関の対応も、そ

の施設の診療体制により違いがあります。検査を希望される際には、各医療機関に直接ご相談してみてください。安心・安全に健診を実施して、病気の早期発見に努めましょう！

激動の令和2年、本連載は今年最後となります。来年は『辛丑・かとうし』。様々な困難をみんなで協力して乗り越え、繁栄や成長の基礎を築く年とのことです。皆様にとって、そのような素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。

『メリークリスマス！
良いお正月をお迎えください！』

北彩都病院 泌尿器科
 診断・治療センター長 徳光 正行
 医学博士、日本泌尿器科学会専門指導医、日本がん治療認定医

北彩都病院 宮下通9
 電話 0166-22-0111
 永山腎泌尿器科 永山2ノフ
 クリニック 電話 0166-46-5500